

浄瑠璃や祭文語りをルーツとし歌と語り三味線で構成。別名「浪花節」。節回しにはジャズのような即興性があり演者によって変化する。

化け上手な芝居の神様

### 芝右衛門たぬき

案内人  
菊地まどか

トチリチャンチャン、今回は中座に伝わるタヌキ伝説を、平成の創作浪曲にした。席のトチリに芝居小屋がひしめきあっていました。中でも浪速座、中座、角座、朝日座、弁天座は「浪速五座」と呼ばれ、連日、歌舞伎や文楽などが賑々しく演じられておりました。

芝右衛門というのは淡路島の洲本に住む、芝居好きなたヌキさん。徳島や淡路島に数あるタヌキ伝説の主人公の二匹で、柳田国男の『日本の昔話』にも採録されています。本来は、中座で人間に化けて芝居見物していたところ、正体を見破られてしまいいヌにかみ殺されてしまう、気の毒なお話なんです。もっともその後、祟りを畏れて「芝右衛門タヌキ大明神」として祭られ、霊験あらたかな芝居の神様として、役者さんの信仰を集めるようになるのですが。平成15年に中座が閉館するまで舞台下の奈落には祠があって、先代の片岡仁左衛門さんや藤山寛美さんも、手を合わせ

ておられたそうです。

中座は解体されましたが、跡地に建つビルには、今もタヌキ像や祠みたいなのがあるんですよ。お芝居は上演していませんが、芝右衛門さん、今もみんなを見守ってくれてるんじゃないかなあ…。そんな思いを込めて、私もここで芸事上達を祈願しました。みなさんも近くへ行ったら寄ってみてください。舞台の当たりを約束してくれる神様だから、サマージャンボも当たるかも!?

この、ちよとゆるキャラ系のかわいいタヌキ像、宮本麗子さんが書いてくださった浪曲「芝右衛門たぬき」のイメージにピッタリだと思っています。宮本作は伝説と違ってハッピーエンドで笑いどころもいっぱい。人間たちと大立ち回りをするシーンは、何かが何して何とやらとラップのように調子よく、最後はほんわか心温まる節回しでめくる…。

「でも芝右衛門は死ぬんでしょ」って？ さあ、それはどうだか。

♪気になるお方は、まどかの舞台を見に来ておくれ、ただし木戸銭に、木の葉のお金は、勘弁♪



芝右衛門明神(セラヴィスクエア中座)  
各線「なんば」「難波」下車

#### 物語のあらすじ

#### 浪曲「芝右衛門たぬき」

淡路島洲本に住むタヌキの芝右衛門は芝居が大好きで、役者に扮しては村人を化かしていました。しかし芝右衛門に化かされると翌日は大漁になるので、村人はむしる芝右衛門のいたずらを心待ちにしました。

ある日、中座の評判を耳にした芝右衛門は、人間に化けて船に乗り、芝居見物にやってきました。しかし舞台上に興奮し、うっかりしっぽを出してしまい、芝居小屋は上を下への大騒ぎに…。

独りミュージカルと言うべき軽快さで、次から次へと繰り出されるノリのよい歌やセリフ。大人も子どもも楽しめる、わかりやすいストーリーも魅力です。

#### 浪曲師

#### 菊地まどか



父親の影響で民謡に親しみ、平成8年から櫓で河内音頭を歌い始める。13年、民謡の成世昌平師の甲会入門、名取になる。15年、京山小圓嬢師に出会い浪曲に開眼。弟子入りし17年にプロデビュー。文化庁芸術祭新人賞、大阪舞台芸術新人賞、咲くやこの花賞など受賞歴多数。実力派新人として注目を集める。新世代の浪曲師や曲師たちと「新星浪曲☆新宣組」「浪曲乙女組」を結成し路上ライブを行うなどファンの裾野を広げている。

#### 浪曲を聴きに行きませんか

##### ● 上方亭ライブ

5月31日(土) 14時30分～ 展示室入場料のみ  
会場/ワッハ上方  
交通/各線「なんば」「難波」下車  
☎06-6631-0884(ワッハ上方)

##### ● 大阪「浪曲乙女組」

8月2日(土) 13時・18時・3000円  
会場/トリイホール  
交通/各線「なんば」「難波」下車  
☎06-6211-2506(トリイホール)